

横浜市周辺の海辺に失われたアマモ場を再生する活動 横浜市 東京湾アマモ場再生活動 ご参考資料

三菱電機グループは事業所周辺の森林、河川などの身近な自然を回復する活動として「里山保全プロジェクト」を進めています。多様な生命を育み、様々な恵みを与えてくれる自然へ恩返しするとともに、事業所のある地域に貢献することを目的にNPOや自治体にご協力いただきながら全国各地で活動を展開しています。

三菱電機(株)神奈川支社(横浜市西区みなとみらい2-2-1)は、2013年よりNPO法人「海辺つくり研究会」様のご支援のもと、横浜市金沢区「海の公園」にて、アマモ場の再生活動を行っており、今年度は以下の通り開催を予定しております。

1. 日時 2025年5月17日(土) 12時~14時(終了時間は予定)
2. 場所 横浜市金沢区 海の公園 【荒天時中止】

昨年度の活動の様子と 今年度の活動予定

昨年度は三菱電機(株)神奈川支社ならびに県内にある弊社の4つの事業所から家族含め約200名が参加し、アマモの種を採取いたしました。

今年度は、アイゴの食害等により海の公園のアマモの生育が不十分なため、木更津よりコアアマモの苗を採取し、海の公園へ移植する苗植え活動を実施いたします。

ご支援は昨年に引き続き「金沢八景-東京湾アマモ場再生会議」様にいただきます。

昨年度の活動の様子は
動画でもご覧頂けます



三菱電機(株)公式
FacebookQRコード



アマモとは？

アマモは海中の栄養(窒素やリン)を吸収し酸素を放出することで海水を浄化する海草の一種で、ブルーカーボン活動の目玉として全国各地で繁殖活動が盛んに取り組まれています。

また、アマモが多く生育する「アマモ場」は、小魚などの隠れ家・生育場、産卵場となっていることから「海のゆりかご」とも呼ばれ、海の浄化・生態系の保全に重要な役割を果たしています。

コアアマモとは？

アマモと同様にアマモ属の海草で、アマモよりは小さく、浅瀬に生育するのが特徴。

コアアマモ場の様子



横浜での取り組みのご紹介

横浜地区の沿岸部においても、埋め立てや港湾開発などによりかつては多く存在していたアマモ場のほとんどが失われてしまいました。そんな失われたアマモ場を再生させるべく、2003年に「金沢八景-東京湾アマモ場再生会議」様が発足しました。これは民間団体では全国初の取り組みでありました。今では国土交通省や横浜市、数多くの民間企業(味の素株式会社様、日本テレビ放送網株式会社様等)も活動に参画しております。

三菱電機(株)神奈川支社では、早くからアマモに着目し、NPO法人「海辺つくり研究会」様のご支援の下、2013年より活動を開始しています。